

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 大和駅周辺地区

平成30年 4月

神奈川県 大和市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	大和市	地区名	大和駅周辺地区			面積	25ha									
交付期間	平成26年度～28年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	9,095百万円	国費率	0.5											
		事業名 高次都市施設(地方都市リノベーション事業・観光交流センター)やまと芸術文化ホール整備事業、高次都市施設(地方都市リノベーション事業・地域交流センター)大和市生涯学習センター整備事業、地方都市リノベーション推進施設(地方都市リノベーション事業)大和市立図書館整備事業、市街地再開発事業(地方都市リノベーション事業)大和駅東側第4地区市街地再開発事業																
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業  基幹事業 提案事業	事業名					削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
		道路(地方都市リノベーション事業・プロムナード整備事業)、道路(地方都市リノベーション事業:深見歩道橋交差点整備事業)、地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業:施設案内看板設置事業)					プロムナード整備事業については、都市再生整備計画区域内において他課によって市単独事業で実施したため、当計画から削除した。 深見歩道橋交差点整備については、当初、交通事故防止の観点から車道の中心線の整備を行う予定であったが、当該地における交通事故件数の減少などの事情によって、その必要性がなくなった事業を実施せず計画から削除した。 施設案内看板設置については、再開発ビルの施設規模が大きく既に周辺住民に周知されており、同地区的ランドマークとしての役割ができたことから、新ためて看板を設置する必要性がなくなったと判断し、計画から削除した。		影響なし									
	当初計画から削除した事業  基幹事業 提案事業																	
	新たに追加した事業  基幹事業 提案事業																	
	交付期間の変更	当初 平成26年度～29年度	変更 平成26年度～28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		特になし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ予定期								
	指標1  図書貸出冊数	冊／人	4.60	H24	5.51	H28	モニタリング 5.45	△ なし	○ あり なし なし	11月からのオープンのため、これを1年分として推計した。補助事業で整備した新図書館の貸出冊数は大幅に増加したもので、市内の他の図書館の貸出冊数が伸び悩んだこと、新図書館が満喫施設であることなどの要因もあり、わずかに目標に届かなかった。しかしながら、その差はよく僅かであり、ほぼ目標に達しているといえる。								
	指標2  文化施設来場者数	人	542,734	H24	677,000	H28	761,630	○ あり なし	○ あり なし	11月からのオープンのため、これを1年分として推計した。芸術文化ホール利用者数は増加。生涯学習センター利用者は特に無料フリースペース利用者が全体利用者数を押し上げて目標値を大きく上回る結果となった。								
	指標3  プロムナード歩行者数	人	24,195	H24	26,100	H28	27,945	○ あり なし	○ あり なし	文化創造拠点シリウスが整備されたことで、大和駅からプロムナードを通ずる歩行者が大幅に増加した。								
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標  その他の数値指標1 その他の数値指標2 その他の数値指標3	単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値	目標 達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ予定期								
4)定性的な効果発現状況	本計画の中心的な事業である大和駅東側第4地区市街地再開発事業により生み出された文化創造拠点は、年間来場者数が300万人と想定を大きく超え、駅周辺、特にプロムナードに多くの来街者が行き交うこととなり、従前とは人の流れも大きく変わっており、大和駅周辺の街づくりの基本的な考え方である「プロムナードを中心とした回遊性の高い街づくり」に大きく寄与しているものと考える。																	
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等											
	モニタリング		特になし		都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													
	住民参加プロセス		文化創造拠点に関する説明会を開催。 平成26年3月8日、3月22日、3月23日、3月29日、3月30日		都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 事業の進捗に応じて適宜、周辺自治会等、市民の方へ情報発信していく。											
	持続的なまちづくり体制の構築		特になし		都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													

## 様式2-2 地区の概要

大和駅周辺地区(神奈川県大和市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 大和市の中心市街地である大和駅周辺地区において、人ととのつながりを大切にし、市民相互が交流を図ることを目指し、同地区に文化創造拠点を創出することで「文化交流が盛んなまち」の実現を図る。	図書貸出冊数 単位:冊数	4,60	H24	5,51	H28	5,45	H28	
目標1 市民の読書環境の整備改善	文化施設来場者数 単位:人	542,734	H24	677,000	H28	761,630	H28	
目標2 文化創造拠点の創出と文化交流人口の増加	プロムナード歩行者数 単位:人	24,195	H24	26,100	H28	27,945	H28	
目標3 アクセス道路等の整備改善	芸術文化活動が盛んに行われていると思われる市民の割合 単位:%	42.4	H23	54.4	H28	45.7	H28	

■市街地再開発事業(地方都市リノベーション事業)  
大和駅東側地区某一種市街地再開発事業

■高次都市施設(地方都市リノベーション事業)  
(仮称)やまと芸術文化ホール整備事業  
大和市生涯学習センター整備事業

○(仮称)大和市立子育て支援施設整備事業

※イメージ図

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>当地区最大の課題であった土地の有効利用については、市街地再開発事業により共同建て替え、建物の更新を行った。また、年間300万人が来場した文化創造拠点の整備により、当地区的集客性の向上に大きく寄与できた。</li> <li>再開発事業により文化創造拠点内に市民課連絡所やイベント観光協会を設置し、駅至近の公共施設の機能を集約し、市民や来街者の利便性の確保に大きく寄与できた。</li> <li>文化創造拠点においては、多くの施設を複合させただけでなく、例えば図書館内の健康テラスでの毎日のイベントなどで利用者間の交流が促されつつあり、市民及び来街者の文化交流が促進されはじめた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市中心市街地としての魅力をさらに高められるよう、地区全体の建物の更新・共同化、土地の有効利用をさらに促していく。</li> <li>大和駅周辺地区的アクセス道路、特にプロムナードと銀座通り、昭和通りの両商店街とをつなぐアクセス通路の整備などにより、プロムナードを中心に街全体の回遊性を高める。</li> <li>文化創造拠点を中心には、街全体を「文化交流の盛んなまち」と位置づけ、文化創造拠点においては、図書館蔵書数の充実や魅力的な生涯学習講座を実施により学習センター利用率を高めるなど、文化活動の情報発信の牽引役として、文化活動が盛んであると実感できる市民の割合を増やしていく。</li> <li>それに伴い、駅周辺を文化の薫りを前面に出せるよう、街全体での魅力的な文化イベントなどによりソフト面においても、「文化交流の盛んなまち」を後押ししていく。</li> </ul>